



















お熊甲祭

国指定重要無形民俗文化財で七尾四大祭りの一つである「お熊甲祭」が開催され、15末社から集まった神輿（みこし）と枠旗が境内を彩った。

境内では、天狗面と派手な衣装に身を包んだ「猿田彦」が神輿や枠旗などの行列を先導。鉦（かね）と太鼓に合わせて軽快に舞う姿で、観客を魅了した。お旅所の「加茂原」では、高さ20メートルを超える枠旗を地面すれすれまで傾けて進む「島田くずし」が披露され、集まった観客からたくさんの歓声と拍手が上がった。